

2023年度全国選抜 小学生プログラミング大会について



ファイナリストの皆さん

※こちらのホームページで、当日の様子が動画で全てご覧いただくことが可能です☆

<https://zsjk.jp/past-archive/5529/>

2024年3月3日(日)「2023年度全国選抜小学生プログラミング大会」全国大会が開催されました。本大会の【テーマ】「みんなの未来」を踏まえて、“自分の未来、大切な人の未来、地域の未来。みんなの明るい未来のために役立つようなアイデアが詰まった未来志向の作品”が募集され、全国で1034組の応募がありました。

大会当日は、全国の予選会で選抜された46組55人のファイナリストの発表が行われました。会場には、ファイナリストとご家族・支援者の約200名以上が集まりました。

小学生らしい夢のある楽しいプログラム作品から、介護や福祉などの社会的課題の現場取材して、そこでの問題解決を目指すプログラム作品など多種多様な作品が集まりました。

その中で、グランプリを受賞した宮崎県代表の上田蒼大さんの作品は、人前で声が出にくいという自分の障害を克服するため、人工音声に生成人工知能(AI)を組み合わせ、自分かわりに、会話をしてくれるプログラムで、飲食店で注文するなど日常生活の場面に応じた、筆談より素早く、ジェスチャーより正確な意思伝達を目指した作品です。

GE薬協は、本大会の協賛団体となっており、会場で、GE薬協ブース「鷹の爪団のどうしてそんなにお金がかかるの」を設置して、鷹の爪団の3本の動画①世界の医療制度、②医療のコスト、③医療を止めるなを上映するとともに、関連ポスターの掲示を行いました。

保護者の方だけでなく、ファイナリスト及び御家族の小学生の方にも、熱心にご視聴頂きました。お出でいただいた皆様ありがとうございました。

そして、本大会にチャレンジした全国の小学生の皆さん、本当にお疲れ様でした！



<参考>

フォトレポート「2023年度全国選抜小学生プログラミング大会 (3月3日)」

https://www.jga.gr.jp/news/240305_005334.html